

ふれあい

2012年 春季号 vol.46

2012年(平成24年)4月20日発行

日本医療機能評価機構認定病院 医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院 広報誌
発行所／広報企画室 石川県野々市市郷町262-2
TEL：076-246-5600 FAX：076-246-3914 http://www.nouge.net



病院理念

脳神経外科専門病院として私達は患者の皆様により高度の医療技術を提供し、公平で平等な患者中心の医療を行います。

基本方針

1. 患者の皆様のご権利と人間性を尊重した温かい医療の提供に努めます。
2. 地域の医療機関と連携を行い、患者の皆様が安心と満足の得られる医療の提供に努めます。
3. 脳神経外科専門病院として、地域の救急医療の提供に努めます。
4. 急性期から回復期リハビリ、慢性期の一貫した医療を提供します。
5. 患者の皆様に対して、適切な言葉と態度を心がけるよう努めます。
6. 患者の皆様のご意見、ご希望を医療に反映させるよう努めます。

患者の皆様のご権利

私達は患者の皆様のご権利を尊重し、信頼に基づいた医療を行うため、患者の皆様のご権利に関する宣言を掲げます。

1. 適切で最善の医療を公平に受ける権利
2. 検査や治療について真実を知り、十分な説明を受ける権利
3. 検査や治療を受ける権利と受けることを拒否する権利
4. プライバシーの秘密保持を得る権利
5. 病院や医師を自由に選択し、あるいは変更する権利

高齢者の自立を助ける



病院長
佐藤 秀次

当院では遠方から手術治療を受けに来られる方が多くいらっしゃいます。先日退院された70歳の腰の腰椎椎管狭窄症の男性患者さんもその一人です。その患者さんは長い期間、地元の大学病院を受診していたそうですが、「年齢も年齢だから、腰に付き合った生活をするように。」と指導され、落胆していたそうです。そんな折りに、ホームページで私が高齢者の腰椎手術に取り組んでいるとの情報を得、遠路はるばる受診されました。病気は高度の腰部椎管狭窄症で数メートル歩くと下肢の力が抜け、転びそうになり、しゃがんでしまうとといった状態でした。高度椎管狭窄症の患者さんに見られる頻尿もありました。これは膀胱が麻痺して収縮力を失うため、一度の排尿で尿を全部出し切れず、膀胱に尿の貯まった状態が続くために起こる症状です。手術は

MD法で17ミリの切開のもと、椎管が狭くなり神経が圧迫されている所を広げる手術を行いました。術後は痛み止めも不要で、翌日から歩行障害が改善し、患者さんは手術治療の劇的効果を目の当たりにして喜んでおられました。退院時の診察の際、大学病院で腰に付き合っただけで、いわれた時に絶望的な気持ちに陥ったことを述べられました。歩けなくなる人生がその人にとってどんな意味を持つか。年だからという言葉は高齢者であっても受け入れ難いのは当然です。それは「諦める、良くなる夢など持たない」と言うことを意味するからです。もっと悪く言えば「長生きしたからこんなことになるんだ。」ということでもあります。医学は老化との戦いでもあります。癌や白内障、膝関節症など老化がもたらす病気は山ほどあります。年だからという文句は、医師の病気に対する敗北を意味すると思っています。私は絶対に白旗は振りません。どんな高齢者でも回復への可能性を探る取り組みを続けていきます。



旧病院 解体作業始まる

3月から旧病院の解体作業が始まりました。昭和55年に野々市町徳用町に開業してから28年間、脳神経外科の地域の拠点病院として大勢の患者さんに利用していただきましたが、老朽化に伴い平成20年11月に野々市市郷町に新築移転しました。移転に伴い、旧病院はそのままになっていましたがこのたび解体が決定しました。思い出多き建物が多くなるのは残念ですが、これもやむなきことと思えます。解体工事は7月中に終了する予定です。





平成24年度

入職式と 新人研修



4月2日に、平成24年度の入職式が行われました。今年度の入職者は看護職10名、薬剤師1名、理学療法士6名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、医療秘書1名、地域医療連携室職員1名の計26名です。佐藤病院長の祝辞の後、代表者が決意の言葉を述べました。



頑張ります！



入職式の後、場所を研修室に移動して1週間の研修が始まります。職員研修のプログラムは、院内の教育委員会によつて作成されます。研修の内容は、病院の沿革にはじまり、各部門の紹介や業務の内容の説明などが行われました。



第8回院内QCCサークル研究発表大会

3月3日に第8回院内QCCサークル研究発表大会が開催されました。今回は6サークルが活動の成果を発表しました。浅ノ川総合病院と金沢循環器病院からも見学者が来られ、盛大に行われました。どれも甲乙つけがたいすばらしい発表でしたが、結果、6病棟スマイルサークルの「オムツ補充の時間を短縮しよう!!」が金賞、続いて3病棟Seven☆サークルの「口腔ケアを見直そう」が銀賞、外来の必要仕事人サークルの「脊椎手術管理を見直そう」が銅賞を受賞しました。金賞を受賞したスマイルサークルは10月に沖縄で開催される「第14回フォーラム医療の改善活動全国大会」に、Seven☆サークルと必要仕事人サークルは、7月に函館で開催される「第15回日本病院脳神経外科学会」に、それぞれ参加します。



第1回リハビリテーション研究大会開催

2月29日に「第1回リハビリテーション研究大会」が開催されました。演題は全部で6題発表されました。今回は第1回目ということもあり、既に学会等で発表した演題を院内向けにアレンジしたものもありました。が、ヒヤリハット報告のようにこの大会用に準備された演題も加わり、内容は多岐に渡るものでした。今後、年に1回開催の予定です。



雛まつりコンサート2012開催

3月5日、多目的ホールで「雛まつりコンサート2012」が開催されました。リハビリテーションセンター職員による楽器演奏会、入院患者さんによるカラオケのど自慢が行われました。会場に集まった入院患者さんとそのご家族、職員らも一緒に演奏や唄を楽しみました。



リハビリテーションセンター拡張工事終了

2月15日にリハビリテーションセンターの拡張工事が終了しました。リハビリテーションセンター職員の増員に伴い、これまでの訓練室では手狭になった状態になりました。そこで、昨年末からリハビリセンターの拡張と再配置の工事を行ってきました。まず、3階作業療法室を拡張して、併設されていたリハビリテーションスタッフルームを別フロアに増設しました。更に言語聴覚療法室を7部屋から9部屋に増設し、5階の第2リハビリテーション室を拡張しました。今回の工事で、今までの平日の治療不足が解消され、より機能的にリハビリテーションが行えるようになりました。



クラブ活動紹介

① いけばな教室

手術部 矢野 美樹

私たち「いけばな教室」は、草月流の金田先生の指導のもと、平成21年4月から教室が始まりました。現在6名で毎週木曜日17時30分からお稽古をしています。季節の草花とのかかわりの中で、草花の名前や花言葉を教えるもらいながら、草月流いけばなの基本から応用までを習得しています。

私は以前から何か習い事したいと思っていました。そんな時、院内で「いけばな教室」が開かれることを知り、思い切って参加することにしました。

「いけばな」というと和室で和服で正座で女性らしくと言う純和風のイメージがあり、抵抗がありました。が、明るく元気な先生に教えていただけののですぐに楽しめることが出来ました。活け方に迷っている時に『お花の気持ちになつてね』と言われる、ついつい考えすぎてしまいがち、うまく出来ないときもありませんが、毎週楽しくお稽古に通っています。

皆さんも私たちと一緒に花と接しながらリフレッシュしませんか？



就任のご挨拶

宮腰 良子 新看護部長

このたび4月1日付けで、當波看護部長の後任として看護部長を務めさせていただくことになりました。この紙面をお借りして、一言ご挨拶を申し上げます。

医療機関を取り巻く環境は大きく変化していますが、看護部は「常に患者さんの立場にたち、人間対人間の看護の実践を心がけ、質の高いケアの提供」を理念として、患者さんの安心・安全・安楽を目指して取り組んでいます。「脳神経外科専門病院として高度の医療技術」を提供するためには、チーム医療の推進が不可欠です。患者さんを中心として医師や関連部門との円滑な協力関係を築くことや地域医療機関・福祉施設等との連携を深め、継続看護がスムーズに実践できることが重要です。今後これらの関係強化を図り、地域の中核としての役割を担いたいと考えています。

私個人の大切にしていく事は「ブルース・リーの7つの教え」です。いつの間にかはまりました。：。「捨てろ」「願え」「感じろ」「分けるな」「依存するな」「先を読む」「己であれ」です。特に「感じろ」(人から感じる。己を知るということはそういうことだ。自ら気

づく力・感じる力を育め。語るよ、感じろ。)です。各現場の方々とコミュニケーションを大切にしていける安心して働ける職場環境と人材育成を目指して取り組みたいと思います。また、私や師長・主任の大半は当院で育てられた看護師がほとんどです。帰属意識が高く、これまでも看護部長の指導の下で同じ方向を向いて団結して行動している仲間です。この先、問題・課題は山積すると思われませんが、一人で背負い込まず、仲間の助けを求め、借りながら周囲と協調してがんばりますのでよろしくお願ひします。



院内研修・院外活動 (2012年2月～3月)

- 2/15 北陸放送ラジオ出演(MRO北陸放送)
山本副院長が北陸放送ラジオ「すこやか介護」に出演しました。
- 2/17 加賀脳卒中地域連携バス維持期分科会(当院 多目的ホール)
当院が事務局を担当する加賀脳卒中地域連携バスの維持期分科会が開かれました。
- 2/18 第77回石川脳血管障害研究会(当院 第2研修室)
石川脳血管障害研究会とエーザイ株式会社の共催で開かれました。
- 2/20 加賀脳卒中地域連携バス回復期分科会(当院 第2研修室)
当院が事務局を担当する加賀脳卒中地域連携バスの回復期分科会が開かれました。
- 2/21 耳寄りな講演会「笑顔で長生き」(みどり集会所)
講師：東川副技士長
地域住民の方々を対象とした講演会を開催しました。
- 2/22 加賀脳卒中地域連携バス急性期分科会(当院 第2研修室)
当院が事務局を担当する加賀脳卒中地域連携バスの急性期分科会が開かれました。
- 2/27 加賀脳卒中地域連携バス運営・管理分科会(当院 第2研修室)
当院が事務局を担当する加賀脳卒中地域連携バスの運営・管理分科会が開かれました。
- 3/2 耳寄りな講演会「笑顔で長生き」(安原公民館)
講師：東川副技士長
地域住民の方々を対象とした講演会を開催しました。
- 3/17 耳寄りな講演会「高齢者の栄養管理」(シオタニメモリアルサロン)
講師：飯田技士長
地域住民の方々を対象とした講演会を開催しました。

